

中国民放クラブだより

歌声喫茶で大盛り上がり！
中国民放クラブ岡山大会

伊藤 嘉之（RSK）

毎年、中国民放クラブの4支部が持ち回りで開催する秋の大会、平成29年度は、岡山支部が担当です。

岡山市内のホテル「メルパルク岡山」。会場正面には、中国民放クラブのロゴマークをあしらった4支部の旗、壁面には各支部の写真愛好家が持ち寄った自慢の作品が展示され花を添えました。



盛大に秋の岡山大会
80名が出席

参加者は、広島支部から17名、山陰支部から10名、山口支部から

4名、地元岡山から46名、それに来賓3名のご出席をいただき、合わせて80名で開催しました。

山陽放送の元アナウンサー横田真理子さんの司会で17時に開始。物故者への黙祷、井上義明岡山支部長の歓迎のあいさつに続いて安東善博中国民放クラブ会長が「更に会員を増やして、活性化を図りましょう！」と檄を飛ばしました。

来賓を代表して山陽放送原憲一会長のあいさつに続いて、長寿表彰に移り、米寿、傘寿合わせて18名が紹介され、代表して妻井令三さん（RSK）が「今や人生百年！民放クラブで積極的に活動して、残る人生を明るく元気に過ごします。」とお礼の言葉を述べました。



元気に謝辞を述べる
傘寿表彰の妻井令三さん

テレビせとうち川端英男会長の

乾杯のご発声でいよいよお楽しみ
の懇親会に。

アトラクションは、「岡山のうたごえ育ての親」で知られるアコーディオン奏者、桧山武雄さんをお迎えしての「歌声喫茶」開店です。アコーディオンの伴奏で懐かしのヒット曲が流れると、会場の皆さんは酒を酌み交わしながら歌い始め、会場は一気に盛り上がりました。



アコーディオンの伴奏で熱唱

カラオケ大好きな各支部の代表が、次々にステージに上がって熱唱。会場からは、ヤンヤンヤの大歓声が上がりました。更に、私も我もと、のど自慢の会員が飛び入りでステージに殺到すると、会場は、あのロカビリー・グループ

サウンズ全盛期を彷彿とさせる「興奮のるつぼと化し」（ちよっと大げさすぎましたか・・・？）あつという間に楽しい時間が過ぎました。



最後に「また逢う日まで」を
全員で大合唱

会場が大いに盛り上がったところで、来年も皆さんが元気に再会出来ませう『また逢う日まで』を大合唱。岡山放送武本慎一郎常務の中締め挨拶で、懇親会はお開きとなりましたが、まだ歌い足りない方は、二次会でカラオケ・バーにご案内いたしました。また翌日のエクスカリオンは、絶好の秋晴れに恵まれ、ゴルフ組は、「後楽ゴルフ倶楽部」。観光組は、紅葉真っ盛りの旧閑谷学校や日本のエーゲ海・牛窓などを巡り、和やかに親睦を深めました。